

2025年2月28日  
明治大学工学部

**2027年度工学部自己推薦特別（旧AO）入学試験における  
選考方法等の変更について**

このことについて、下記のとおり、変更いたします。  
なお、出願の際は、入学試験要項を必ず確認してください。

記

1. 変更点

選考方法等について、別紙「自己推薦特別入試（旧AO）入学試験における  
選考方法等の変更点」のとおり変更する。

2. 添付資料

自己推薦特別入試（旧AO）入学試験における選考方法等の変更点

以上

自己推薦特別（旧AO）入学試験における選考方法等の変更点

	2026 年度	2027 年度																	
電気電子生命学科	<p><b>選考方法</b></p> <p>出願書類及び<u>学力考査</u>、並びに、口頭試問の結果を総合的に判断して合否を決定します。</p> <p><u>学力考査では、入学後に必要とされる数学（※1）および英語に関する基礎学力の確認を行います。電気電子生命学科のカリキュラムでは、高校で学ぶ数学の中で微分・積分、数列・ベクトル、複素数、三角関数などの理解が求められます。</u></p> <p>口頭試問では、電気電子生命学科のアドミッション・ポリシー（※2）にいかにかマッチしているかという点に重点をおいて行われます。自己アピールの際には、具体的な事例などを交えて、客観的に自分の長所、短所を述べることを望まれます。</p> <p><u>（※1） 数学の学力考査の出題範囲については、以下のとおりです。</u></p> <p><u>平成 30 年改訂高等学校学習指導要領教育課程の「数学 I・数学 II・数学 III・数学 A・数学 B（数列・統計的な推測）・数学 C（ベクトル・平面上の曲線と複素数平面）」の範囲から出題します。</u></p>	<p><b>選考方法</b></p> <p>出願書類及び<u>資格・検定試験（※1）の成績</u>、並びに、口頭試問の結果を総合的に判断して合否を決定します。<u>数学の検定試験の成績提出者に対しては、数学の口頭試問を免除します。</u></p> <p>口頭試問では、電気電子生命学科のアドミッション・ポリシー（※2）にいかにかマッチしているかという点に重点をおいて行われます。自己アピールの際には、具体的な事例などを交えて、客観的に自分の長所、短所を述べることを望まれます。</p> <p><u>（※1） 選考に使用する資格・検定試験は次の（ア）および（イ）のとおりです。提出後の証明書類の追加、差替え、返却はできません。</u></p> <p><u>（ア） 英語 4 技能資格・検定試験</u></p> <p><u>スコアの証明書類は、出願締切日から遡って 2 年以内に受験し、かつ出願締切日までに提出できるもの 1 つ（1 種類かつ 1 回）に限ります。出願締切日までに所定の証明書類の提出がない場合は、0 点として取り扱います。</u></p> <table border="1" data-bbox="1596 1129 2617 1839"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">評価に必要な総合スコア</th> </tr> <tr> <th>最低基準</th> <th>最高基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>実用英語技能検定（英検）</u> <u>【従来型、S-CBT、S-Interview】（注 1）</u></td> <td><u>CSE2.0 スコア</u> <u>1980</u></td> <td><u>CSE2.0 スコア</u> <u>2304</u></td> </tr> <tr> <td><u>TEAP</u> <u>【4 技能パターンに限る】</u> <u>※TEAP CBT は不可</u></td> <td><u>225</u></td> <td><u>309</u></td> </tr> <tr> <td><u>TOEFL iBT</u> <u>※TOEFL iBT Home Edition は不可</u> <u>※「MyBest スコア」の活用は不可</u></td> <td><u>42</u></td> <td><u>72</u></td> </tr> <tr> <td><u>IELTS</u> <u>【アカデミックモジュールに限る】</u> <u>※IELTS コンピューター版含む</u> <u>※IELTS online は不可</u> <u>※「One Skill Retake」の活用は不可</u></td> <td><u>4</u></td> <td><u>5.5</u></td> </tr> </tbody> </table>		評価に必要な総合スコア		最低基準	最高基準	<u>実用英語技能検定（英検）</u> <u>【従来型、S-CBT、S-Interview】（注 1）</u>	<u>CSE2.0 スコア</u> <u>1980</u>	<u>CSE2.0 スコア</u> <u>2304</u>	<u>TEAP</u> <u>【4 技能パターンに限る】</u> <u>※TEAP CBT は不可</u>	<u>225</u>	<u>309</u>	<u>TOEFL iBT</u> <u>※TOEFL iBT Home Edition は不可</u> <u>※「MyBest スコア」の活用は不可</u>	<u>42</u>	<u>72</u>	<u>IELTS</u> <u>【アカデミックモジュールに限る】</u> <u>※IELTS コンピューター版含む</u> <u>※IELTS online は不可</u> <u>※「One Skill Retake」の活用は不可</u>	<u>4</u>	<u>5.5</u>
		評価に必要な総合スコア																	
最低基準		最高基準																	
<u>実用英語技能検定（英検）</u> <u>【従来型、S-CBT、S-Interview】（注 1）</u>	<u>CSE2.0 スコア</u> <u>1980</u>	<u>CSE2.0 スコア</u> <u>2304</u>																	
<u>TEAP</u> <u>【4 技能パターンに限る】</u> <u>※TEAP CBT は不可</u>	<u>225</u>	<u>309</u>																	
<u>TOEFL iBT</u> <u>※TOEFL iBT Home Edition は不可</u> <u>※「MyBest スコア」の活用は不可</u>	<u>42</u>	<u>72</u>																	
<u>IELTS</u> <u>【アカデミックモジュールに限る】</u> <u>※IELTS コンピューター版含む</u> <u>※IELTS online は不可</u> <u>※「One Skill Retake」の活用は不可</u>	<u>4</u>	<u>5.5</u>																	

(※2) 数学、理科、外国語については、高等学校段階の基礎的な知識と応用問題にも適応できる十分な学習能力を身に付けている学生を求めます。理科については、「物理基礎・物理・化学基礎・化学」の4科目又はこれらに相当する科目を履修していることが望まれます。

<u>TOEIC L&amp;R 及び TOEIC S&amp;W (注2)</u> ※IPテストのスコアは不可	総合スコアで 790	総合スコアで 1095
<u>GTEC</u> 【CBTタイプに限る】	930	1180
<u>ケンブリッジ英語検定</u> ※Linguaskillは不可	140	160

(注1) 実用英語技能検定について、2級以上の受験者のCSEスコア(CSE2.0)を活用します。「級」の合格は必要ありません。

(注2) TOEICについて、TOEIC L&RおよびTOEIC S&Wのうち、いずれかの証明書類の提出が無い場合であっても、提出された証明書類に基づき判定を行います。

(イ) 実用数学技能検定

	評価に必要な等級	
	最低基準	最高基準
実用数学技能検定	2級合格	準1級合格

(注) 実用数学技能検定について、2級の合格または準1級以上の受験者の1次・2次検定の両方もしくはいずれかの合格を活用します。準1級以上については、「級」の合格は必要ありません。

(※2) 数学、理科、外国語については、高等学校段階の基礎的な知識と応用問題にも適応できる十分な学習能力を身に付けている学生を求めます。理科については、「物理基礎・物理・化学基礎・化学」の4科目又はこれらに相当する科目を履修していることが望まれます。